



ももぐみだより



令和6年7月18日 常盤幼稚園
もも組担任 鹿島幸子

早いもので、本日より学期の終業式を迎えました。入園式からの3か月、ももぐみの子どもたちとの楽しく見辰やかな日々はあったという間でした。

〈4月〉自分の好きな遊びを見つけたり、「先生一緒に遊ぼう!」と誘ってくれて元気いっぱい過ごす子もいれば泣きながら頑張る子、登園する子、何をしようか迷いながら過ごす子もいました。まずは園生活に慣れること幼稚園は楽しいところと思えるように...を大切に過ごした1か月でした。

〈5月〉少しずつ友達に興味を持ち、名前を呼んだり手を繋いでみたりする姿も見られるようになりました。好きなことが一緒の子と傍で遊び、話しかけたりするうちに仲良しになりました。

〈6月〉友達関係が広がってきたこの頃、鬼ごっこやかくれんぼ、むくりまさんなどの集団遊びも楽しめるようになりました。かくれんぼでは探す方が好きで、隠れるのは先生1人という時も1門の前でみんなで10まで数えて探りに来られます。「みつけた!」の時はニコニコ笑顔、「もう一回!」とまた一斉に門まで駆け出している、同じことを繰り返すのが楽しくて何度も遊びました。砂遊びも大好きで虫作りや穴掘り、電車や車が走る道を作ったり、おままごとをして楽しんでいました。お菓子やさんとごはんやさんも人気で「ご注文は?」「どうぞください!」などの会話も聞かえてきました。時には「走り切れず」という返事も。子どもたちと遊んでいるとくすくすと笑ってしまう出来事がたくさんあります。

〈7月〉暑い日は水遊びやプールで思い切り遊びました。泥んこ遊びでは水を流したり、水たまりに足を入れてみたり、プールでは水をバシャバシャ掛け合って大喜びの子どもたちでした。

1学期後半には日に日に成長を感じ、子どもたちの中で友達の変化が大きくなってきているなと思える出来事がたくさんありました。身支度や着替えは一人で出来るようになる子が増え、友達の手伝いをしてあげる子もいました。「今日は〇〇ちゃんお休みだね。」と気かたりお牛乳やお水も自分で飲ませたり「一緒に遊ぼう!」と誘い合ったり。困っている子や泣いている子に「どうしたの?」と声を掛けてくれたり、使いたいおもちゃを貸してあげる子もいて子どもたちの優しさが溢れました。同時に幼稚園で頑張っている分家で甘える姿も夕方の夕飯の時間などではないでしょうか。1学期中、保護者の皆様にはたくさんのご理解、ご協力いただきありがとうございました。2学期は行事も盛りだくさん、もも組さんみんなが楽しみながら参加していきたいと思っています。夏休みは体調に気をつけてご家族で楽しくお過ごしください。2学期に元気な子どもたちに会えるのを楽しみにしています。